

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

| | |
|------|----------|
| 学校名 | 城西国際大学 |
| 設置者名 | 学校法人城西大学 |

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

| 学部名 | 学科名 | 夜間・通信制の場合 | 実務経験のある教員等による授業科目の単位数 | | | | 省令で定める基準単位数 | 配置困難 |
|---|----------|-----------|-----------------------|---------|------|----|-------------|------|
| | | | 全学共通科目 | 学部等共通科目 | 専門科目 | 合計 | | |
| 経営情報学部 | 総合経営学科 | 夜・通信 | | | 16 | 16 | 13 | |
| 国際人文学部 | 国際文化学科 | 夜・通信 | | | 26 | 26 | 13 | |
| | 国際交流学科 | 夜・通信 | | | 16 | 16 | 13 | |
| 福祉総合学部 (*1) | 福祉総合学科 | 夜・通信 | | | 16 | 16 | 13 | |
| | 理学療法学科 | 夜・通信 | | | 14 | 14 | 13 | |
| 看護学部 (*1) | 看護学科 | 夜・通信 | | | 15 | 15 | 13 | |
| 健康科学部 (*2) | 看護学科 | 夜・通信 | | | 15 | 15 | 13 | |
| | 福祉総合学科 | 夜・通信 | | | 16 | 16 | 13 | |
| | 理学療法学科 | 夜・通信 | | | 14 | 14 | 13 | |
| 薬学部 | 医療薬学科 | 夜・通信 | | | 26 | 26 | 19 | |
| メディア学部 | メディア情報学科 | 夜・通信 | | | 25 | 25 | 13 | |
| 観光学部 | 観光学科 | 夜・通信 | | | 16 | 16 | 13 | |
| (備考) (*1)福祉総合学部、看護学部に関しては2026年度より募集を停止した。 (*2)健康科学部に関しては、2026年度に開設した。 | | | | | | | | |

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

大学ホームページのシラバス情報検索サービスにて公表

<https://jiu-unipa.jiu.ac.jp/uprx/>

検索文字列に「実務経験有」と入力して絞り込み

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名

(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

| | |
|------|----------|
| 学校名 | 城西国際大学 |
| 設置者名 | 学校法人城西大学 |

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページにて公表 <https://www.josai.jp/about/>

2. 学外者である理事の一覧表

| 常勤・非常勤の別 | 前職又は現職 | 任期 | 担当する職務内容 や期待する役割 |
|---|----------------------|--|------------------------------|
| 非常勤 羽入 佐和子 | 帝京大学先端総合研究 機構特任教授 | 令和7年5月28日定時 評議員会終結時～令和 11年度定時 評議員会終結時 | 学術研究に関する 指導、助言及び管 理、監督 |
| (備考) 外部理事1名（藤野陽三）が2026年6月6日に急逝したため、申請日時点では一時的に学外者である理事が2名未満となっている。 現在、後任候補者について理事選任手続きを進めており、7月22日の理事会で選任予定である。 | | | |

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

| | |
|------|----------|
| 学校名 | 城西国際大学 |
| 設置者名 | 学校法人城西大学 |

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

| | |
|--|--|
| <p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p> | |
| <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>毎年 2～3 月に、開講科目担当教員に対し締め切り日を設定し、シラバス作成要領に従って、本学所定のフォームに web 入力で授業計画の作成をお願いしている。</p> <p>入力完了後、抜けはないか、フォームに沿って入力されているか教務委員を主体として授業計画(シラバス)チェックを行い、4 月初旬に公開している。</p> | |
| 授業計画書の公表方法 | <p>ホームページにて公表</p> <p>https://jiu-unipa.jiu.ac.jp/uprx/</p> |
| <p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> | |

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

全学共通の指針として、履修申請、試験、成績発表について学生便覧の「履修の手引きと手続き」に掲載し、これを厳格に運用している。授業計画(シラバス)に記載された成績評価基準に基づき、試験・レポート等による総合評価に基づき、以下の基準に従い、単位を認定している。

- ・100点を満点として、60点以上をもって単位修得(合格)とする。

その評価は次に従う

| 評価 | 得点分布 |
|----|----------|
| S | 100点～90点 |
| A | 89点～80点 |
| B | 79点～70点 |
| C | 69点～60点 |
| F | 59点以下 |

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

成績評価を厳格に行いより教育効果を高めること、学生の学習意欲を触発し学習目標を明確化すること、成績評価基準を学外の評価基準に標準化し国際化を図ることを目的としてGPA制度を取り入れている。

城西国際大学の成績評価は、
(合格) (不合格)
S: 100～90点 F: 59点以下
A: 89～80点
B: 79～70点
C: 69～60点

S・A・B・Cの評価に対して、それぞれ4・3・2・1点のGrade Pointを与え、Grade Pointに各科目の単位数を掛け合わせ、その総計数を総履修単位数で割ることにより、平均点(Grade Point Average)を算出し、単位修得とは別の尺度で、当該学生の成績評価を行う。Grade Point Averageは成績通知表に記載している。

[履修登録した各科目の(GP×単位数)の合計] ÷ [成績評価を受けた全科目の単位数合計]

客観的な指標の
算出方法の公表方法

ホームページにて公表
<https://www.jiu.ac.jp/visitors/students/detail/id=16671>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

全ての学部において卒業に必要な単位数及びディプロマ・ポリシーを定めている。各学部において、卒業に係る学生の単位修得状況を基に作成された卒業判定資料を作成し、教授会で審議。その原案をもって、卒業判定会議で審議し、学長が決定している。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

ホームページにて公表

<https://www.jiu.ac.jp/visitors/students/detail/id=10881>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

| | |
|------|----------|
| 学校名 | 城西国際大学 |
| 設置者名 | 学校法人城西大学 |

1. 財務諸表等

| 財務諸表等 | 公表方法 |
|--------------|---|
| 貸借対照表 | https://www.josai.jp/about/kiso/pdf/kessan_2025.pdf |
| 収支計算書又は損益計算書 | https://www.josai.jp/about/kiso/pdf/kessan_2025.pdf |
| 財産目録 | https://www.josai.jp/about/kiso/pdf/kessan_2025.pdf |
| 事業報告書 | https://www.josai.jp/about/kiso/pdf/jigyou_2025.pdf |
| 監事による監査報告(書) | https://www.josai.jp/about/kiso/pdf/kanjikansa_2025.pdf |

2. 事業計画 (任意記載事項)

| |
|---|
| 単年度計画 (名称: 2026年度事業計画 対象年度: 2026年度) |
| 公表方法: https://www.josai.jp/about/plan/project/pdf/jogyokeikaku_2026.pdf |
| 中長期計画 (名称: 学校法人城西大学中期計画 対象年度: 2025年度~2029年度) |
| 公表方法: https://www.josai.jp/about/plan/midl_plan/pdf/chukikeikaku02.pdf |

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

| |
|--|
| 公表方法: ホームページにて公表 https://www.jiu.ac.jp/about/review/ |
|--|

(2) 認証評価の結果 (任意記載事項)

| |
|--|
| 公表方法: ホームページにて公表 https://www.jiu.ac.jp/about/review/ |
|--|

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

| |
|--|
| 学部等名 経営情報学部 |
| 教育研究上の目的（公表方法：ホームページにて公表 https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=663 ） |
| （概要） 経営情報学部は、経営学と情報学を中心とした総合的で多様な学問分野についての教育研究を通じて、グローバル化や情報通信技術の発展に対応し、企業や国際社会、地域社会の諸問題に対して主体的に取り組むことができる人材を養成する。 |
| 卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：ホームページにて公表 https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=663 ） |
| （概要） 経営情報学部総合経営学科は、所定の単位を修得し、かつ以下に該当すると判断した場合に、学士（経営情報）の学位を授与する。 1. 経営学と情報科学を中心とした専門的学問分野を学び、自ら問題解決に取り組める深い学識と専門的知識を体系的に身に付けている。 2. 経営学の様々な手法やデータサイエンス等の情報科学技術の修得によって、課題を可視化できる表現力、およびその解決方法や新たな価値を創造する力を身に付けている。 3. 外国人留学生との交流や海外留学・研修制度等を通じて、異文化に対する理解を深め、グローバルな視点に立って国内外で活躍できる資質・能力を身に付けている。 4. 実践型プログラムを通じて、企業や国際社会、地域社会の現場における課題を発見し、それを主体的に解決する力を身に付けている。 5. 社会人に求められる幅広い知識を修得し、それを活用できる資質・能力を身に付けている。 |
| 教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページにて公表 https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=663 ） |
| （概要） 経営情報学部総合経営学科では、教育研究上の目的及びディプロマ・ポリシーに基づき、グローバル化や情報通信技術の発展に対応し、企業や国際社会、地域社会の諸問題に対して主体的に取り組むことができる人材を養成するため、以下に掲げる方針によりカリキュラム（教育課程）を編成します。 1. 文理融合型リベラルアーツとして、幅広い教養、新たなリテラシー及び総合的な洞察力を身に付けるため、全学部共通基盤科目群を設置する。 2. 英語を中心に多言語を学び、グローバル化の進展する社会や企業で活用できる語学力と国際教養を身に付けるため、外国語科目群を設置する。 3. 大学で主体的に学修する意欲、社会で求められる倫理観、思考力・表現力・判断力などを用いて課題を発見・解決できる社会人基礎力、キャリア形成に資する能力を身に付けるため、キャリア形成支援・就職支援としてインターンシップやビジネスキャリア実践などで構成するキャリア形成科目群を設置する。 4. 経営学の専門分野に関する基礎知識を身に付けるため、経営、マーケティング、経済、会計、情報科学、スポーツマネジメント、スポーツ健康科学、環境などの多様で幅広い基礎的な科目で構成する専門基礎科目群を設置する。 5. 専門基礎科目群で培った知識を土台に、一人ひとりの学修目標や進路に係る知識・技能を深めるため、実務的かつ学際的な学びとしての専門性の高い経営、マーケティング、経済、会計、情報科学、スポーツマネジメント、スポーツ健康科学、環境などに係る専門的な科目で構成する専門科目群Ⅰを設置する。 |

| |
|---|
| <p>6. 修得した知識・技能・態度などを統合し、様々な人々とともに目標に向けて協力する力や主体的・協働的に諸課題に取り組む能力、及びこれまで学修した知識・技能等を高めるため、ゼミナール・プロジェクト研究などで構成する専門科目群Ⅱを設置する。</p> <p>7. 専門的学修に基づく授業力と指導力、マネジメント力を兼ね備えた保健体育科教員を育成するため、教職に関する科目で構成する専門科目群Ⅲを設置する。</p> <p>8. アセスメント・ポリシーに基づく学修アセスメント・プランを提示し、ディプロマ・ポリシーに示す能力の修得状況及び学生の成長に伴う達成度を客観的に測定、評価する。</p> <p>以上の教育課程の編成に基づき、各授業内容に応じて、知識の修得を目的とする「講義」、知識や理論を組み合わせ実践力を養うことを目的とする「演習」、事象の検証や実践的な応用、技術や技法の修得を目的とする「実習」や「実技」を取り入れた授業形態を採用します。また、社会のニーズを踏まえた教育を展開することができるよう、主に専門科目群に実務家教員を配置します。さらに、合理的な授業人数の調整や ICT を活用した教育方法を導入し、より効果的な教育を実施します。</p> |
| <p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページにて公表 https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=663）</p> |
| <p>（概要）</p> <p>経営情報学部総合経営学科では、本学科の教育方針に共感し、以下のいずれかに当てはまる人を求めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営学及び情報科学分野等に関心を有し、その学修を通じて、企業、行政、スポーツ・健康、情報、教育、環境分野等で将来活躍するという目的意識を持っている人 ・国際社会・地域社会・産業界等で通用する思考力、判断力及び表現力を身につけるため、主体的に取り組むことを目指す人 ・学生相互あるいは教員と共に協働しながら、学び合うことを目指す人 ・本学部での学びを通じて、積極的に異文化との交流を図ろうとする意欲のある人 ・スポーツや文化活動並びに、社会活動に積極的に取り組むことを目指す人 |

| |
|---|
| <p>学部等名 国際人文学部</p> |
| <p>教育研究上の目的 （公表方法：ホームページにて公表 https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=665）</p> |
| <p>（概要）</p> <p>国際人文学部は、世界の多様性と人間の諸活動についての学際的な教育研究を通じて、語学力と国際的な教養、社会人に必要な知識とスキルを十分に身に付け、国際社会で活躍できる人材を養成する。</p> <p>国際文化学科 国際文化学科は、多様な地域の言語、文化、社会に係る知識と比較の観点に基づく学際的な教育研究を通じて、国際的な視野をもって語学力と異文化理解力に優れ、柔軟な発想と行動力を備えた人材を養成する。</p> <p>国際交流学科 国際交流学科は、国際社会を構成する多様な人々の諸活動や諸課題に関わる人文社会系の教育研究を学際的に行い、実践的な語学力、国際交流のための知識及びコミュニケーション能力を身に付けた人材を養成する。</p> |
| <p>卒業の認定に関する方針 （公表方法：ホームページにて公表 https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=665）</p> |

(概要)

国際文化学科

国際人文学部 国際文化学科は、所定の単位を取得し、かつ以下に該当すると判断した場合に、学士（国際文化）の学位を授与します。

1. 文化の多様性を認識し、そのグローバル化の様相を理解することができる。
2. 世界の中の日本の姿を認識し、理解することができる。
3. 自身がおもに学ぶ国や地域の言語・文化・社会について基本的な知識を身に付け、適切に理解することができる。
4. 一つ以上の外国語について、日常生活に必要な言語運用ができる。
5. 日本語を正確に理解し、論理的な文章を書くと同時に、自らの見解をわかりやすく伝達することができる。
6. 必要な情報を適切な方法で収集し、クリティカルな態度をもって分析、活用することができる。
7. 異文化社会に属する、多様な価値観や思考様式を持つ人々との相互理解に努め、協調・協働して行動することができる。
8. 修得した教養や技能を活かして、グローバル社会を多面的に捉え、そこから見解を形成し、課題の発見と解決に努めることができる。

国際交流学科

国際人文学部 国際交流学科は、所定の単位を取得し、かつ以下に該当すると判断した場合に、学士（国際交流）の学位を授与します。

1. 日本語、英語、選択した第二外国語を聞き、読み、話し、書くことによって、適切なコミュニケーションをはかることができる。
2. 国際的な視点から、日本語と、日本の文化と社会を理解できる。
3. 国際交流を積極的に進め、国際的な場で協働を行うために前提となる諸要素について理解することができる。
4. 言語、文化、社会の多様性を認め、国際社会の課題を発見することができる。
5. 自ら見出した課題について、適切な方法で情報収集・検討・考察し、その結果や自己の見解を、効果的な形で発表・活用することができる。
6. 課題解決に向けて自ら考え、努力し、その過程を協調性やリーダーシップをもって他者と分かち合うことができる。
7. 国際交流の知識とコミュニケーション能力を活用し、国際社会の発展に貢献することを目指して行動することができる。

教育課程の編成及び実施に関する方針

(公表方法：ホームページにて公表

<https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=665>)

(概要)

国際文化学科

国際人文学部 国際文化学科では、教育研究上の目的及びディプロマ・ポリシーに基づき、グローバル人材を育成するため、以下に掲げる方針によりカリキュラム（教育課程）を編成します。

1. 文理融合型リベラルアーツとして、幅広い教養、新たなリテラシー及び総合的な洞察力を身に付けるため、全学部共通基盤科目群を設置する。
2. グローバル社会における教養としての言語、専門分野の学修に必要な言語を身に付けるため、外国語科目群を設置する。
3. 学生生活を充実させ、キャリア形成や生涯学習に資する主体的・自律的な学びを実現するため、導入期教育・ポートフォリオなどに関するキャリア形成科目群を設置する。
4. グローバル化する文化や社会のあり方について多様な切り口から学び、言語、文学、

美術、歴史、社会、ジェンダー、比較文化など、人文学の専門分野の学びの基礎を身に付けるため、専門基礎科目群を設置する。

5. 日本、アジア、アメリカ、ヨーロッパなど、世界の文化に関する専門知識を身に付け、活用できるように、専門科目群Ⅰを設置する。
6. 韓国及び韓国語が使用される地域の言語・文化・社会についてより深く探究するため、専門科目群Ⅱを設置する。
7. 演習及び研修・インターンシップを通して、専門分野の学びの集大成をはかるため、専門科目群Ⅲを設置する。
8. 専門分野の学びをより広げ、卒業後の進路や就業に結び付けたキャリア形成をはかるため、言語・文化・社会関連科目からなる専門科目群Ⅳを設置する。
9. 専門分野の学びに係る教育職員免許状を取得するため、専門科目群Ⅴを設置する。
10. アセスメント・ポリシーに基づく学修アセスメント・プランを提示し、ディプロマ・ポリシーに示す能力の修得状況及び学生の成長に伴う達成度を客観的に測定、評価する。

国際交流学科

国際人文学部 国際交流学科は、教育研究上の目的及びディプロマ・ポリシーに基づき、実践的な語学力、国際交流のための知識及びコミュニケーション能力を身に付けた人材を育成するため、以下に掲げる方針によりカリキュラム（教育課程）を編成します。

1. 文理融合型リベラルアーツとして、幅広い教養、新たなリテラシー及び総合的な洞察力を身に付けるため、全学部共通基盤科目群を設置する。
2. グローバル社会における教養としての言語、専門分野の学修に必要な言語を身に付けるため、外国語科目群を設置する。
3. 学生生活を充実させ、キャリア形成や生涯学習に資する主体的・自律的な学びを実現するため、導入期教育・ポートフォリオ作成などに関するキャリア形成科目群を設置する。
4. グローバル化する文化や社会、コミュニケーションのあり方について多様な切り口から学び、文学・歴史・地理・法律・経済・政治など専門分野の学びの基礎を身につけるため、専門基礎科目群を設置する。
5. 世界各地域の多様な社会・文化とその相互交流、国際社会のルールと仕組みなど、国際関係・国際協力に関する専門知識を身に付け、活用できるように、専門科目群Ⅰを設置する。
6. 言語学、外国語学習、異文化理解など、国際コミュニケーションに関する専門的な知識・技能を身に付け、活用できるように、専門科目群Ⅱを設置する。
7. 第二言語としての日本語を襲える体系的な知識・技能、言語教育の専門家としての態度を身に付け、活用できるように、専門科目群Ⅲを設置する。
8. 演習及び研修・インターンシップを通して、専門分野の学びの実践と発展をはかるため、専門科目群Ⅳを設置する。
9. 専門分野の学びに係る教育職員免許状を取得するため、専門科目群Ⅴを設置する。
10. アセスメント・ポリシーに基づく学修アセスメント・プランを提示し、ディプロマ・ポリシーに示す能力の修得状況及び学生の成長に伴う達成度を客観的に測定、評価する。

入学者の受入れに関する方針

（公表方法：ホームページにて公表

<https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=665>）

| |
|---|
| <p>(概要)</p> <p>国際文化学科</p> <p>国際人文学部国際文化学科では、本学科の教育方針に共感し、以下のいずれかに当てはまる人を求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自身の思考や意見をわかりやすくまとめ、伝えることを目指す人 2. 必要な情報を適切な方法で収集・選別し、活用することを目指す人 3. 日本及び世界の文化、社会、政治、経済に強い関心がある人 4. 多様な文化背景を持つ人々との関わりから日本及び世界の文化・生活・社会などを学ぶ意欲がある人 5. 様々な言語に興味があり、世界の人々とつながりたいと思っている人 6. 学習意欲を持ち、論理的な思考力、問題解決能力を身につけることに熱意がある人 <p>国際交流学科</p> <p>国際人文学部国際交流学科では、本学科の教育方針に共感し、以下のいずれかに当てはまる人を求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 国内外の様々な言語を話す人々と、適切なコミュニケーションを通して協働できるようになりたい人 2. 国内外の多様な背景をもつ人々と、国際社会が向き合う様々な課題の解決に向けて協力していきたい人 3. 高等学校までの基本的な学習内容を幅広く修得し、国内外の国際的な場での活躍を目指す人 |
|---|

| |
|---|
| <p>学部等名 福祉総合学部</p> |
| <p>教育研究上の目的</p> <p>(公表方法：ホームページにて公表 https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=667)</p> |
| <p>(概要)</p> <p>福祉総合学部</p> <p>福祉総合学部は、国際的・地域的視点から福祉・医療の問題に関する教育研究を通じて、自己の専門性の向上に向けて探求できる人材を養成する。</p> <p>福祉総合学科</p> <p>福祉総合学科は、持続可能な福祉社会の実現を目指して、国際的・地域的視点から社会福祉現象をめぐる理論的・実証的な教育研究を通じて、社会環境の変化に対応し、様々な問題の解決に貢献できる福祉人材を養成する。</p> <p>理学療法学科</p> <p>理学療法学科は、国際的視野と科学的知見に基づき、理学療法学領域の教育研究を通じて、新たな時代の保健・医療・福祉に貢献し、専門職の学問的内容に見識を有する人材を養成する。</p> |
| <p>卒業の認定に関する方針</p> <p>(公表方法：ホームページにて公表 https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=667)</p> |

(概要)

福祉総合学科

福祉総合学部 福祉総合学科は、所定の単位を取得し、かつ以下に該当すると判断した場合に、学士（福祉総合）の学位を授与します。

1. 福祉について基本的な知識を身に付け、適切に理解して活用することができる。
2. 福祉、保育、行政の現状を理解し、現場で必要な知識・技能を活かして、主体的に課題を探求することができる。
3. すべての人々の福祉の増進を目指し、社会人として必要な倫理性と人権意識を身に付け、多様な価値観を尊重して行動することができる。
4. 専門的な知識や技能に基づいて、論理的かつ批判的思考力及び規範的判断力を身に付け、主体的に活用することができる。
5. 国際的・地域的双方の視点から、国境や文化の境を越えて共感し行動することができる。
6. 生涯学習する意欲と能力を身に付け、持続可能な社会、孤立や排除の無い社会づくりに連携・協働しながら貢献することができる。

理学療法学科

福祉総合学部 理学療法学科は、所定の単位を取得し、かつ以下に該当すると判断した場合に、学士（理学療法）の学位を授与します。

1. 理学療法について基本的な知識を身に付け、適切に理解して活用することができる。
2. 理学療法を提供するために必要な技能を身に付け、活用することができる。
3. グローバル化及び少子高齢化が進む社会において求められる語学力、情報リテラシー、組織運営のマネジメントについて理解し活用することができる。
4. 理学療法の提供に必要な倫理観を身に付け、人の尊厳について理解し行動することができる。
5. 国内外を問わず、急速に変化する社会情勢に目を向けながら、医療、保健、福祉に関する問題に関心を持ち、その理解に向けて考え行動することができる。
6. 習得した知識・技能を活かして、主体的に目標を立てて行動し、課題を発見し、解決に努めることができる。
7. 生涯学習する意欲と能力を身に付け、多職種間で連携・協働するための知識、コミュニケーション能力、思考力、協調性を持って行動することができる。

教育課程の編成及び実施に関する方針

(公表方法：ホームページにて公表

<https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=667>)

(概要)

福祉総合学科

福祉総合学部 福祉総合学科では、教育研究上の目的及び学位授与方針に基づき、学生一人ひとりの資格取得やキャリア目標に即して、福祉、医療、保健の専門性を身に付けた人材を育成するため、以下に掲げる方針によりカリキュラム（教育課程）を編成します。

1. 福祉を学ぶ基礎となる文理融合型リベラルアーツとして、幅広い教養、新たなリテラシー及び総合的な洞察力を身に付けるため、全学部共通基盤科目群を設置する。
2. 国内外における地域を基盤とした実践現場での研修や実習などを通じて、キャリア形成や生涯学習に資する主体的・自律的な学びを実現するため、キャリア形成科目群を設置する。
3. 専門分野の共通基盤（学士専門力）を体系的に身に付け、より広い視野から福祉を考えるため、学科の学びの基礎となる専門基礎科目群を設置する。
4. 実践力と総合力を体系的に身に付け、専門分野を深く学ぶための基盤（学士専門力）を形成するため、各コースは以下の内容からなる専門科目群を設置する。

社会福祉コース

- ・福祉に関する幅広い知識と教養を身に付けるための科目を設置する。
- ・対象者理解を深め、専門的な知識・技能を習得するための科目を設置する。
- ・社会環境や多様化するニーズを理解し、人と環境を包括的に捉え、孤立や排除のない地域づくりに貢献できる力を身に付けるための科目を設置する。
- ・課題を自発的に探求し、問題解決能力を身に付けるための演習・実習に関する科目を設置する

子ども福祉コース

- ・子どもの育ちを支える専門的知識・技能を身に付けるための科目を設置する。
- ・遊びを通じた発達の援助を自発的に実践する力を身に付けるための科目を設置する。
- ・子どもの教育や保育の課題を国際的・地域的視点から捉え、考える力を身に付けるための科目を設置する。
- ・子どもの教育・保育だけでなく、女性・家族が抱える福祉的課題について問題意識を持ち、ソーシャルワークを効果的に活用する力を身に付けるための科目を設置する。

福祉マネジメントコース

- ・社会を構成する人間の理解を深めるための科目を設置する。
- ・現代社会が直面する様々な社会課題を理解するための科目を設置する。
- ・多様性に寛容な社会、SDGsを達成できる社会、皆で力を合わせて活動できる社会の構築に必要な実践的な能力を身に付けるための科目を設置する。
- ・社会における多様な主体との協働に対応する力を身に付けるための科目を設置する。

5. アセスメント・ポリシーに基づく学修アセスメント・プランを提示し、学位授与方針に示す能力の修得状況及び学生の成長に伴う達成度を客観的に測定、評価する。

理学療法学科

福祉総合学部 理学療法学科では、教育研究上の目的及び学位授与方針に基づき、理学療法士として必要な理学療法、医療、福祉の専門性を身に付けた人材を育成するため、以下に掲げる方針によりカリキュラム（教育課程）を編成します。

1. 理学療法を学ぶ基礎となる文理融合型リベラルアーツとして、幅広い教養、新たなリテラシー及び総合的な洞察力を身に付けるため、全学部共通基盤科目群を設置する。
2. 急速に進むグローバル化に対応し、国内外の国際的な場で活躍できる人材を育成するため、国際的素養を身に付けるための学科共通科目群Ⅰを設置する。
3. 科学的思考の基礎を身に付けるため、基礎医学や臨床医学、理学療法に係る総論的または基礎的な科目で構成する学科共通科目群Ⅱを設置する。
4. 社会人として前向きに問題解決をはかる能力を身に付けるため、職業意識を高め、職業能力について考察を深めるための科目からなるキャリア形成科目群を設置する。
5. 専門分野の共通基盤（学士専門力）を体系的に身に付け、より広い視野から理学療法について考えるため、人体の構造と機能及び心身の発達について学ぶ専門基礎科目群Ⅰ、疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進について学ぶ専門基礎科目群Ⅱ、保健医療福祉とリハビリテーションの理念について学ぶ専門基礎科目群Ⅲを設置するほか、各学部との連携教育や学科共通基礎知識を発展させるための科目を設置する。
6. 理学療法について体系的かつ総合的に理解するため、基礎理学療法学について学ぶ専門科目群Ⅰ、理学療法管理学、理学療法評価学、理学療法治療学、地域理学療法学について学ぶ専門科目群Ⅱ、職業現場で活用できる実践力を身に付けるために専門科目群Ⅲを設置する。
7. 専門職間での連携・協働に必要な知識・技能を身に付けるため、問題基盤型学習（PBL テ

| |
|---|
| <p>ュートリアル) やポートフォリオによる自己評価を重視した演習科目を設置する。</p> <p>8. 理学療法知識・技能を総合的に高めるために理学療法総合演習を、臨床実践能力の確認・向上のために客観的臨床能力試験 (OSCE) を含む理学療法セミナーを設置する。</p> <p>9. アセスメント・ポリシーに基づく学修アセスメント・プランを提示し、学位授与方針に示す能力の修得状況及び学生の成長に伴う達成度を客観的に測定、評価する。</p> |
| <p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法：ホームページにて公表 https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=667)</p> |
| <p>(概要)</p> <p>福祉総合学科 福祉総合学科では、本学科の教育方針に共感し、以下のいずれかに当てはまる人を求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人々の気持ちに寄り添い、地域の様々な社会的課題を認識し、その具体的解決策の提案・解決を図ることを身につけたい人 2. 国際的な視点から、多様な価値観を理解し、連携・協働して、共生社会・持続可能な社会の実現に貢献したいと考えている人 3. 福祉や介護、保育の専門性を活かして地域に貢献し、人々の役に立ちたいと思っている人 <p>理学療法学科 理学療法学科では、本学科の教育方針に共感し、以下のいずれかに当てはまる人を求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 理学療法士に必要な知識・技能を身に付け、幅広く活躍したい人 2. 自分の目標を立て、実現に向けて継続して努力したい人 3. 生命の尊さを理解し、他者への思いやりを持つ人 4. 多様な文化や価値観に好奇心を持ち、チャレンジ精神が旺盛な人 5. 多職種間の連携に興味を持ち、他分野の人の意見を傾聴する力を身に付けたい人 |

| |
|--|
| <p>学部等名 看護学部</p> |
| <p>教育研究上の目的 (公表方法：ホームページにて公表 https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=670)</p> |
| <p>(概要)</p> <p>看護学部は、人々の健康増進を目指した教育研究を通じて、学際的知見に裏付けられた新しい時代の看護を目指し、人間性豊かで多文化を理解し、くすりや福祉に明るく、探究心と倫理性を兼ね備えた看護職者を養成する。</p> |
| <p>卒業の認定に関する方針 (公表方法：ホームページにて公表 https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=670)</p> |

(概要)

看護学部 看護学科は、所定の単位を取得し、かつ以下に該当すると判断した場合に、学士（看護学）の学位を授与します。

1. 看護について基盤となる知識を身に付け、活用することができる。
2. グローバルな視点で、多様な背景、価値観、文化を持つ人々を理解するために教養と寛容さを身に付け、行動することができる。
3. 安全・安心・安楽な看護技術を身に付け、実践することができる。
4. 看護専門職として必要なコミュニケーション能力を身に付け、活用することができる。
5. あらゆる場でチームの一員として、連携・協働し、看護を実践することができる。
6. 地域で暮らす人々の健康を支援するための情報を収集・分析・統合することができる。
7. 看護に必要な倫理観、人の生命や人としての尊厳と権利を尊重する態度を身に付け、行動することができる。
8. 国内外を問わず、急速に変化する社会情勢に目を向け、人々の健康問題解決に向けて考え行動することができる。
9. 看護専門職として生涯にわたり研鑽し続けることができる。

教育課程の編成及び実施に関する方針

(公表方法：ホームページにて公表

<https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=670>)

(概要)

看護学部 看護学科では、教育研究上の目的及び学位授与方針に基づき、国際的視野をもって常に変化する社会情勢や多様な対象のニーズに対応できる知識・技能を身に付け、地域に貢献できる看護職者を育成するため、以下に掲げる方針によりカリキュラム（教育課程）を編成します。

1. 看護学の基礎となる文理融合型リベラルアーツとして、幅広い教養、新たなリテラシー及び総合的な洞察力を身に付けるため、全学部共通基盤科目群を設置する。
2. グローバル化による社会のニーズに応え、多様な対象を理解し尊重するためのグローバルリテラシー科目群を設置する。
3. 看護の対象である人および人をとりまく環境や新しい技術への理解を深めるための看護基盤科目群を設置する。
4. 専門職の役割を考えながら能動的に学修し、キャリア形成の基盤を身に付けるため、キャリア形成科目群を設置する。
5. 専門職の基盤となる専門性を体系的に身に付けるため、保健、医療、福祉の知識・技能、連携について学ぶ専門基礎科目群Ⅰ、専門基礎科目群Ⅱを設置する。
6. 看護学の基本、ライフステージ、健康レベル、生活の場の違いに対応した看護実践力を身に付けるため、専門科目群Ⅰ、専門科目群Ⅱ、専門科目群Ⅲを、多様化、複雑化した状況下にある看護並びに看護職者の倫理や役割の理解を深めるため専門科目群Ⅳを設置する。
7. 専門的な国家試験受験資格、免許を取得するため、保健師課程、助産師課程、教職課程に必要な科目からなる自由科目群を設置する。
8. アセスメント・ポリシーに基づく学修アセスメント・プランを提示し、学位授与方針に示す能力の修得状況及び学生の成長に伴う達成度を客観的に測定、評価する。

入学者の受入れに関する方針

(公表方法：ホームページにて公表

<https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=670>)

| |
|---|
| <p>(概要)</p> <p>看護学部では、本学部の教育方針に共感し、以下のいずれかに当てはまる人を求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 多様な価値観を認め合う寛容さを持ち、自己や他者を大切にできる人 2. 他者とコミュニケーションを取り、協働できる人 3. 看護専門知識・技能の習得や関心のあることに主体的に取り組むことができる人 4. グローバルな活動に関心を持っている人 |
|---|

| |
|--|
| <p>学部等名 健康科学部</p> |
| <p>教育研究上の目的</p> <p>(公表方法：ホームページにて公表 https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=19434)</p> |
| <p>(概要)</p> <p>健康科学部</p> <p>健康科学部は、国際的・地域的視点から保健・医療・福祉分野の問題に関する教育研究を通じて、その分野を横断し現代の健康問題に対応することができる総合的視野を持った人材を養成する。</p> <p>看護学科</p> <p>看護学科は、人々の健康増進を目指した教育研究を通じて、学際的知見に裏付けられた新しい時代の看護を目指し、人間性豊かで多文化を理解し、くすりや福祉に明るく、探究心と倫理性を兼ね備えた看護職者を養成する。</p> <p>理学療法学科</p> <p>理学療法学科は、国際的視野と科学的知見に基づき、理学療法学領域の教育研究を通じて、新たな時代の保健・医療・福祉に貢献し、専門職の学問的内容に見識を有する人材を養成する。</p> <p>福祉総合学科</p> <p>福祉総合学科は、持続可能な福祉社会の実現を目指して、国際的・地域的視点から社会福祉現象をめぐる理論的・実証的な教育研究を通じて、社会環境の変化に対応し、様々な問題の解決に貢献できる福祉人材を養成する。</p> |
| <p>卒業の認定に関する方針</p> <p>(公表方法：ホームページにて公表 https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=19434)</p> |
| <p>(概要)</p> <p>看護学科</p> <p>健康科学部看護学科は、所定の単位を修得し、かつ以下に該当すると判断した場合に、学士（看護学）の学位を授与します</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 看護について基盤となる知識を身に付け、活用することができる。 2. グローバルな視点で、多様な背景、価値観、文化を持つ人々を理解するために教養と寛容さを身に付け、行動することができる。 3. 安全・安心・安楽な看護技術を身に付け、実践することができる。 4. 看護専門職として必要なコミュニケーション能力を身に付け、活用することができる。 5. あらゆる場でチームの一員として、連携・協働し、看護を実践することができる。 6. 地域で暮らす人々の健康を支援するための情報を収集・分析・統合することができる。 7. 看護に必要な倫理観、人の生命や人としての尊厳と権利を尊重する態度を身に付け、行動することができる。 8. 国内外を問わず、急速に変化する社会情勢に目を向け、人々の健康問題解決に向けて |

考え行動することができる。

9. 看護専門職として生涯にわたり研鑽し続けることができる。

理学療法学科

健康科学部理学療法学科は、所定の単位を修得し、かつ以下に該当すると判断した場合に、学士（理学療法）の学位を授与します。

1. 理学療法について基本的な知識を身に付け、適切に理解して活用することができる。
2. 理学療法を提供するために必要な技能を身に付け、活用することができる。
3. グローバル化及び少子高齢化が進む社会において求められる語学力、情報リテラシー、組織運営のマネジメントについて理解し活用することができる。
4. 理学療法の提供に必要な倫理観を身に付け、人の尊厳について理解し行動することができる。
5. 国内外を問わず、急速に変化する社会情勢に目を向けながら、保健・医療・福祉に関する問題に関心を持ち、その理解に向けて考え行動することができる。
6. 修得した知識・技能を活かして、主体的に目標を立てて行動し、課題を発見し、解決に努めることができる。
7. 生涯学習する意欲と能力を身に付け、多職種間で連携・協働するための知識、コミュニケーション能力、思考力、協調性を持って行動することができる。

福祉総合学科

健康科学部福祉総合学科は、所定の単位を修得し、かつ以下に該当すると判断した場合に、学士（福祉総合）の学位を授与します。

1. 福祉について基本的な知識を身に付け、適切に理解して活用することができる。
2. 福祉、保育、介護の現状を理解し、現場で必要な知識・技能を活かして、主体的に課題を探求することができる。
3. すべての人々の福祉の増進を目指し、社会人として必要な倫理性と人権意識を身に付け、多様な価値観を尊重して行動することができる。
4. 専門的な知識や技能に基づいて、論理的かつ批判的思考力及び規範的判断力を身に付け、主体的に活用することができる。
5. 国際的・地域的双方の視点から、国境や文化の境を越えて共感し行動することができる。
6. 生涯学習する意欲と能力を身に付け、持続可能な社会、孤立や排除の無い社会づくりに連携・協働しながら貢献することができる。

教育課程の編成及び実施に関する方針

（公表方法：ホームページにて公表

<https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=19434>）

（概要）

看護学科

健康科学部看護学科では、教育研究上の目的及びディプロマ・ポリシーに基づき、国際的視野をもって常に変化する社会情勢や多様な対象のニーズに対応できる知識・技能を身に付け、地域に貢献できる看護職者を養成するため、以下に掲げる方針によりカリキュラム（教育課程）を編成します。

1. 看護学の基礎となる文理融合型リベラルアーツとして、幅広い教養、新たなリテラシー及び総合的な洞察力を身に付けるため、全学部共通基盤科目群を設置する。
2. グローバル化による社会のニーズに応え、多様な対象を理解し尊重するため、外国語科目群を設置する。
3. 専門職の役割を考えながら能動的に学修し、キャリア形成の基盤を身に付けるため、キャリア形成科目群を設置する。

4. 保健・医療・福祉の知識・技能と連携、情報の活用について学び、協働して課題を解決する力を身に付けるため、専門基礎科目群Ⅰを設置する。
5. 専門職の基盤となる専門性を体系的に身に付けるため、人及び人をとりまく環境について学ぶ専門基礎科目群Ⅱを設置する。
6. 看護の基礎を学び、看護実践力の基盤となる知識・技術・態度を身に付けるため、専門科目群Ⅰを設置する。
7. ライフステージ、健康レベルの違いに対応した看護実践力を身に付けるため、専門科目群Ⅱを設置する。
8. 医療施設以外の場で求められる看護について体系的に学ぶため、専門科目群Ⅲを設置する。
9. 多様化、複雑化した状況下にある看護並びに看護職者の倫理や役割の理解を深めるため、専門科目群Ⅳを設置する。
10. 専門的な国家試験受験資格、免許を取得するため、保健師課程、助産師課程、教職(養護教諭一種)課程に必要な科目からなる専門科目群Ⅴを設置する
11. アセスメント・ポリシーに基づく学修アセスメント・プランを提示し、ディプロマ・ポリシーに示す能力の修得状況及び学生の成長に伴う達成度を客観的に測定、評価する。

以上の教育課程の編成に基づき、各授業内容に応じて、知識の修得を目的とする「講義」、知識や理論を組み合わせ実践力を養うことを目的とする「演習」、実践的な応用、技術や技法の修得を目的とする「実習」を取り入れた授業形態を採用します。また、社会のニーズを踏まえた教育を展開することができるよう、主に専門基礎科目群・専門科目群に実務家教員を配置します。さらに、合理的な授業人数の調整やICTを活用した教育方法を導入し、より効果的な教育を実施します。

理学療法学科

健康科学部理学療法学科では、教育研究上の目的及びディプロマ・ポリシーに基づき、理学療法領域の教育研究を通じて、新たな時代の保健・医療・福祉に貢献し、専門職の学問的内容に見識を有する人材を養成するために、以下に掲げる方針に則ってカリキュラム(教育課程)を編成します。

理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に準拠した教育内容と科目を必修科目として集約し、基礎医学科目から理学療法専門科目へと段階的に科目を配置します。

1. 文理融合型リベラルアーツとして、幅広い教養、新たなリテラシー及び総合的な洞察力を身に付けるため、全学部共通基盤科目群を設置する。
2. グローバル化が進む社会で活躍できる素地を養うため、外国語科目群を設置する。
3. 国内外を問わず社会に貢献するため自らの専門性を考察し、保健・医療・福祉に関する諸問題に関心を持ち主体的に行動する力や生涯学び続ける意欲を養うため、キャリア形成科目群を設置する。
4. 理学療法を学ぶ基礎を固め、医療人としての倫理観やコミュニケーション能力を身に付けるため、専門基礎科目群Ⅰを設置する。
5. 人体の仕組みと成りたち、そしてその機能を系統立てて理解し、さらに人体の運動や心身の発達について学ぶため、専門基礎科目群Ⅱを設置する。
6. 医学・医療分野の基礎を学び、様々な疾病や障害の発症、予防、治療、回復過程に関する知識を習得し、さらに、栄養や救急救命、画像診断など医療に関する幅広い知識を身につけるため、専門基礎科目群Ⅲを設置する。
7. 社会保障論や地域包括ケアシステムなどの保健・医療・福祉の知識と自立支援や就労支援を含むリハビリテーションの理念を学び、またチーム医療を実践するために必要となる連携教育の理念から実践までを習得するため、専門基礎科目群Ⅳを設置する。
8. 理学療法の基礎から研究マインドまで系統的に理学療法を学ぶため、専門科目群Ⅰを設置する。

9. 医療保険制度、介護保険制度を理解し、職場管理、理学療法教育に必要となる能力や職業倫理観を高めるため、また理学療法評価・治療の理論から実践技術までを身につけるため、さらに理学療法の対象となる全ての人に対して地域における生活を支援するために必要な知識や考え方を学ぶため、専門科目群Ⅱを設置する。
10. 理学療法における総合演習と臨床実習を通して、知識、技術、思考、さらに実践力を養い、実際の臨床場面で活躍できる力を身につけるため、専門科目群Ⅲを設置する。
11. アセスメント・ポリシーに基づく学修アセスメント・プランを提示し、ディプロマ・ポリシーに示す能力の修得状況及び学生の成長に伴う達成度を客観的に測定、評価する。

以上の教育課程の編成に基づき、各授業内容に応じて、知識の修得を目的とする「講義」、知識や理論を組み合わせて実践力を養うことを目的とする「演習」、事象の検証や実践的な応用、技術や技法の修得を目的とする「実習」、「実技」を取り入れた授業形態を採用します。また、社会のニーズを踏まえた教育を展開することができるよう、主に専門科目群に実務家教員を配置します。さらに、合理的な授業人数の調整や ICT を活用した教育方法を導入し、より効果的な教育を実施します。

福祉総合学科

健康科学部福祉総合学科では、教育研究上の目的及びディプロマ・ポリシーに基づき、福祉・医療・保健の専門性を有する人材を養成するため、学生一人ひとりの資格修得やキャリア目標に応じたカリキュラム（教育課程）を編成する。

1. 福祉を学ぶ基礎となる文理融合型リベラルアーツとして、幅広い教養、新たなリテラシー及び総合的な洞察力を身に付けるため、全学部共通基盤科目群を設置する。
2. 多様な文化背景を理解し、グローバルな学びを実現するため、外国語科目群を設置する。
3. 地域を基盤とした実践現場での研修や実習などを通じて、キャリア形成や生涯学習に資する主体的・自律的な学びを実現するため、キャリア形成科目群を設置する。
4. 専門分野の共通基盤（学士専門力）を体系的に身に付け、より広い視野から福祉を考えるため、学科の学びの基礎となる専門基礎科目群を設置する。
5. 実践力と総合力を体系的に身に付け、専門分野を深く学ぶための基盤（学士専門力）を形成するため、各コースは以下の内容からなる専門科目群を設置する。

社会福祉コース

- 福祉に関する幅広い知識と教養を身に付けるための科目を設置する。
- 対象者理解を深め、専門的な知識・技能を習得するための科目を設置する。
- 社会環境や多様化するニーズを理解し、人と環境を包括的に捉え、孤立や排除のない地域づくりに貢献できる力を身に付けるための科目を設置する。
- 課題を自発的に探求し、問題解決能力を身に付けるための演習・実習に関する科目を設置する。

子ども福祉コース

- 子どもの育ちを支える専門的知識・技能を身に付けるための科目を設置する。
- 遊びを通じた発達の援助を自発的に実践する力を身に付けるための科目を設置する。
- 子どもの教育や保育の課題を国際的・地域的視点から捉え、考える力を身に付けるための科目を設置する。
- 子どもの教育・保育だけでなく、女性・家族が抱える福祉的課題について問題意識を持ち、ソーシャルワークを効果的に活用する力を身に付けるための科目を設置する。
-

福祉マネジメントコース

- 社会における多様な主体との協働に対応する力を身に付けるための科目を設置する。
- 社会を構成する人間の理解を深めるための科目を設置する。
- 高齢社会が直面する介護を取り巻く課題を国際的・地域的視点から捉え、考える力を身に付けるための科目を設置する。
- 多様性に寛容な社会、SDGsを達成できる社会、皆で力を合わせて活動できる社会の構築に必要な実践的な能力を身に付けるための科目を設置する。

6. アセスメント・ポリシーに基づく学修アセスメント・プランを提示し、学位授与方針に示す能力の修得状況及び学生の成長に伴う達成度を客観的に測定、評価する。

以上の教育課程の編成に基づき、各授業内容に応じて、知識の修得を目的とする「講義」、知識や理論を組み合わせて実践力を養うことを目的とする「演習」、事象の検証や実践的な応用、技術や技法の修得を目的とする「実習」、「実技」を取り入れた授業形態を採用します。また、社会のニーズを踏まえた教育を展開することができるよう、主に専門科目群に実務家教員を配置します。さらに、合理的な授業人数の調整やICTを活用した教育方法を導入し、より効果的な教育を実施します。

入学者の受入れに関する方針

(公表方法：ホームページにて公表)

<https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=19434>)

(概要)

看護学科

1. 求める学生像

健康科学部看護学科では、本学科の教育方針に共感し、以下のいずれかに当てはまる人を求めます。

- ・多様な価値観を認め合う寛容さを持ち、自己や他者を大切にできる人
- ・他者とコミュニケーションを取り、協働できる人
- ・看護専門知識・技能の習得や関心のあることに主体的に取り組むことができる人
- ・グローバルな活動に関心を持っている人

2. 入学者選抜の方針

以下の入学試験により、特に学力を構成する3要素である「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」について多面的かつ総合的に評価します。

(1)総合型選抜

本学科が求める学生像を理解し、その資質と能力を発揮することに意欲的な人を対象とします。出願書類や資格・検定試験の成績などの提出書類、選考審査では知識・技能、思考力・判断力・表現力を評価します。面接では主体性・多様性・協働性や意欲・目的意識を主に評価します。

(2)学校推薦型選抜（指定校、公募制）

本学科が求める学生像を理解し、本学科が定める基準を満たし、かつ学校長などが推薦する人を対象とします。出願書類や推薦書、資格・検定試験の成績などの提出書類、選考審査では知識・技能、思考力・判断力・表現力を評価します。面接では主体性・多様性・協働性や意欲・目的意識を主に評価します。

(3)一般選抜（一般選抜、大学入学共通テスト利用）

[一般選抜]

本学科での教育を受けるための資質と能力を有する人を対象とします。本学独自の学力検査と出願書類において知識・技能、思考力・判断力・表現力を主に評価します。本学独

自の学力検査は、募集要項に示した教科・科目の成績を採用します。

[大学入学共通テスト利用]

本学科での教育を受けるための資質と能力を有する人を対象とします。学力検査（大学入学共通テスト）と出願書類において知識・技能、思考力・判断力・表現力を主に評価します。学力検査（大学入学共通テスト）は、募集要項に示した教科・科目の成績を採用します。

(4)特別選抜（外国人留学生選抜）

本学科が求める学生像を理解し、本学科での教育を受けるための資質と能力を有する人を対象とします。出願書類、選考審査では、知識・技能、思考力・判断力・表現力を評価します。面接では主体性・多様性・協働性や意欲・目的意識を主に評価します。

3. 入学までに学んできてほしい内容

(1)本学科入学後の専門知識や技能の修得に必要な基礎学力

(2)協働的に学ぶための基礎的なコミュニケーション力、本学科での専門的な学修を深めるための思考力・判断力・表現力

(3)国際社会の出来事に関心を持ち、高い倫理観とグローバルな視点を養う姿勢

理学療法学科

1. 求める学生像

健康科学部理学療法学科では、本学科の教育方針に共感し、以下のいずれかに当てはまる人を求めます。

- ・理学療法士に必要な知識・技能を身に付け、幅広く活躍したい人
- ・自分の目標を立て、実現に向けて継続して努力したい人
- ・生命の尊さを理解し、他者への思いやりを持つ人
- ・多様な文化や価値観に好奇心を持ち、チャレンジ精神が旺盛な人
- ・多職種間の連携に興味を持ち、他分野の人の意見を傾聴する力を身に付けたい人

2. 入学者選抜の方針

以下の入学試験により、特に学力を構成する 3 要素である「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」について多面的かつ総合的に評価します。

(1)総合型選抜

本学科が求める学生像を理解し、その資質と能力を発揮することに意欲的な人を対象とします。出願書類や資格・検定試験の成績などの提出書類、課題では知識・技能、思考力・判断力・表現力を評価します。面接では主体性・多様性・協働性や意欲・目的意識を主に評価します。

(2)学校推薦型選抜（指定校、公募制）

本学科が求める学生像を理解し、本学科が定める基準を満たし、かつ学校長などが推薦する人を対象とします。出願書類や推薦書、資格・検定試験の成績などの提出書類では知識・技能、思考力・判断力・表現力を評価します。面接では主体性・多様性・協働性や意欲・目的意識を主に評価します。

(3)一般選抜（一般選抜、大学入学共通テスト利用）

[一般選抜]

本学科での教育を受けるための資質と能力を有する人を対象とします。本学独自の学力検査と出願書類において知識・技能、思考力・判断力・表現力を主に評価します。本学独自の学力検査は、募集要項に示した教科・科目の成績を採用します。

[大学入学共通テスト利用]

本学科での教育を受けるための資質と能力を有する人を対象とします。学力検査（大学入学共通テスト）と出願書類において知識・技能、思考力・判断力・表現力を主に評価します。学力検査（大学入学共通テスト）は、募集要項に示した教科・科目の成績を採用し

ます。

(4)特別選抜（外国人留学生選抜）

本学科が求める学生像を理解し、本学科での教育を受けるための資質と能力を有する人を対象とします。出願書類では、知識・技能、思考力・判断力・表現力を評価します。面接では主体性・多様性・協働性や意欲・目的意識を主に評価します。

3. 入学までに学んできてほしい内容

(1)本学科入学後の専門知識や技能の修得に必要な基礎学力

(2)協働的に学ぶための基礎的なコミュニケーション力、本学科での専門的な学修を深めるための思考力・判断力・表現力

(3)国際社会の出来事に関心を持ち、高い倫理観とグローバルな視点を養う姿勢

福祉総合学科

1. 求める学生像

健康科学部福祉総合学科では、本学科の教育方針に共感し、以下のいずれかに当てはまる人を求めます。

- ・人々の気持ちに寄り添い、地域の様々な社会的課題を認識し、その具体的解決策の提案・解決を図ることを身につけたい人
- ・福祉や介護、保育の専門性を活かして地域に貢献し、人々の役に立ちたいと思っている人
- ・国際的な視点から、多様な価値観を理解し、連携・協働して、共生社会・持続可能な社会の実現に貢献したいと考えている人

2. 入学者選抜の方針

以下の入学試験により、特に学力を構成する 3 要素である「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」について多面的かつ総合的に評価します。

(1)総合型選抜

本学科が求める学生像を理解し、その資質と能力を発揮することに意欲的な人を対象とします。出願書類や資格・検定試験の成績などの提出書類、課題では知識・技能、思考力・判断力・表現力を評価します。面接では主体性・多様性・協働性や意欲・目的意識を主に評価します。

(2)学校推薦型選抜（指定校、公募制）

本学科が求める学生像を理解し、本学科が定める基準を満たし、かつ学校長などが推薦する人を対象とします。出願書類や推薦書、資格・検定試験の成績などの提出書類では知識・技能、思考力・判断力・表現力を評価します。面接では主体性・多様性・協働性や意欲・目的意識を主に評価します。

(3)一般選抜（一般選抜、大学入学共通テスト利用）

〔一般選抜〕

本学科での教育を受けるための資質と能力を有する人を対象とします。本学独自の学力検査と出願書類において知識・技能、思考力・判断力・表現力を主に評価します。本学独自の学力検査は、募集要項に示した教科・科目の成績を採用します。

〔大学入学共通テスト利用〕

本学科での教育を受けるための資質と能力を有する人を対象とします。学力検査（大学入学共通テスト）と出願書類において知識・技能、思考力・判断力・表現力を主に評価します。学力検査（大学入学共通テスト）は、募集要項に示した教科・科目の成績を採用します。

(4)特別選抜（外国人留学生選抜）

本学科が求める学生像を理解し、本学科での教育を受けるための資質と能力を有する人を対象とします。出願書類では、知識・技能、思考力・判断力・表現力を評価します。面接では主体性・多様性・協働性や意欲・目的意識を主に評価します。

| |
|---|
| <p>接では主体性・多様性・協働性や意欲・目的意識を主に評価します。</p> <p>(5)特別選抜（社会人選抜） 本学科が求める学生像を理解し、編入年次から教育を受けるための資質と能力を有する人を対象とします。出願書類と小論文において、知識・技能、思考力・判断力・表現力を評価します。面接では主体性・多様性・協働性や意欲・目的意識を主に評価します。</p> <p>(6)編入学試験 本学科が求める学生像を理解し、編入年次から教育を受けるための資質と能力を有する人を対象とします。出願書類と小論文において、知識・技能、思考力・判断力・表現力を評価します。面接では主体性・多様性・協働性や意欲・目的意識を主に評価します。</p> <p>3. 入学までに学んできてほしい内容</p> <p>(1)本学科入学後の専門知識や技能の修得に必要な読解力、文章力などの基礎学力 (2)協働的に学ぶための基礎的なコミュニケーション力、本学科での専門的な学修を深めるための思考力・判断力・表現力 (3)国際社会の出来事に関心を持ち、高い倫理観とグローバルな視点を養う姿勢</p> |
|---|

| |
|---|
| <p>学部等名 薬学部</p> |
| <p>教育研究上の目的 (公表方法：ホームページにて公表 https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=664)</p> |
| <p>(概要) 薬学部は、超高齢化と国際化が進む日本社会において、医薬品の薬効・安全性の確保や疾病の発症予防に係る教育研究を通じて、質が高く安全・安心な医療サービスを提供し、一人ひとりの豊かで健康な生活を支援できる薬剤師を養成する。</p> |
| <p>卒業の認定に関する方針 (公表方法：ホームページにて公表 https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=664)</p> |
| <p>(概要) 薬学部 医療薬学科は、所定の単位を取得し、かつ以下に該当すると判断した場合に、学士（薬学）の学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「医療人としての資質」 生命の尊厳や患者・生活者の権利について理解し、医療従事者に求められる倫理観と責任感を持って行動することができる。 2. 「薬学に係る総合的知識」 薬学に係る総合的な知識を身につける。 3. 「薬物治療の実践的能力」 個別最適化した薬物治療の計画を立案し、医薬品の適正かつ安全な使用のための薬学的管理ができる。 4. 「コミュニケーション能力」 一人ひとりの健康な生活を支えるため、医療従事者に求められるコミュニケーション能力を身につけ、適切に活用できる。 5. 「多職種連携能力」 医療・福祉・公衆衛生における多職種連携に参加し、薬の専門家として積極的にコミュニケーションが図れる。 6. 「課題発見・問題解決能力」 薬学的視点に基づき課題を発見し、科学的手法を用いて解決に向けて探究できる。 |

| |
|--|
| <p>7. 「情報・科学技術の活用能力」 多様な医療・福祉・公衆衛生の課題に対し、解決に向けて情報・科学技術を適切に活用できる。</p> <p>8. 「生涯学習の実践」 自己実現に向けて、生涯にわたり薬学に係る知識・技能の向上に研鑽する姿勢を示す。</p> |
| <p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：ホームページにて公表 https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=664)</p> |
| <p>(概要) 薬学部 医療薬学科では、教育研究上の目的及び学位授与方針に基づき、薬剤師としての専門性を身に付けた医療人を育成するため、以下に掲げる方針によりカリキュラム（教育課程）を編成します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. DP1「医療人としての資質」を身につけるため、キャリア形成科目群（医療倫理、薬剤師倫理、ライフステージ IPE 等）、専門科目群 I（薬事関係法規、病院・薬局事前学習等）及び専門科目群 II（病院・薬局実務実習、卒業研究及び卒業論文等）を設置する。 2. DP2「薬学に係る総合的知識」を身につけるため、専門科目群 I（基礎薬学科目、医療薬学系科目、衛生薬学系科目等）を設置する。 3. DP3「薬物治療の実践的能力」を身につけるため、専門科目群 I（基礎薬学科目、医療薬学系科目、病院・薬局事前学習等）及び専門科目群 II（病院・薬局実務実習等）を設置する。 4. DP4「コミュニケーション能力」を醸成するため、キャリア形成科目群（薬学概論、コミュニケーション論演習等）、専門科目群 I（医療薬学基礎ゼミ、病院・薬局事前学習等）及び専門科目群 II（病院・薬局実務実習、卒業研究及び卒業論文等）を設置する。 5. DP5「多職種連携能力」を身につけるため、キャリア形成科目群（薬学概論、ライフステージ IPE 等）、専門科目群 I（病院・薬局事前学習）及び専門科目群 II（病院・薬局実務実習）を設置する。 6. DP6「課題発見・問題解決能力」を身につけるため、専門科目群 I（実習科目等）及び専門科目群 II（病院・薬局実務実習、卒業研究及び卒業論文等）を設置する。 7. DP7「情報・科学技術の活用能力」を身につけるため、全学部共通基盤科目群（データサイエンス I）、キャリア形成科目群（情報メディア演習等）、専門科目群 I（医薬品情報学、医療統計学、実習科目、病院・薬局事前学習等）及び専門科目群 II（病院・薬局実務実習、卒業研究及び卒業論文等）を設置する。 8. DP8「生涯学習の実践」に必要な姿勢や態度を身につけるため、全学部共通基盤科目群、キャリア形成科目群、専門科目群 I 及び II を設置する。 9. アセスメント・ポリシーに基づく学修アセスメント・プランを提示し、学位授与方針に示す能力の修得状況及び学生の成長に伴う達成度を客観的に測定、評価する。 |
| <p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法：ホームページにて公表 https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=664)</p> |
| <p>(概要) 薬学部では、本学部の教育方針に共感し、以下のいずれかに当てはまる人を求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 修学に必要な基礎的な知識があり、主体的に学ぶ意欲がある人 2. 医療人として必要な基本姿勢・態度を身につける意欲がある人 3. 薬学を通して、地域社会・国際社会での活動に参加を目指す人 4. 多様な文化・価値観の中で、他者の意見を聞き、自分の考えを表現し、積極的なコミュニケーション力を身につけたい人 |

| |
|--|
| <p>学部等名 メディア学部</p> |
| <p>教育研究上の目的 (公表方法：ホームページにて公表 https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=669)</p> |
| <p>(概要) メディア学部は、「表現力」「コミュニケーション力」「コラボレーション力」を高め、複合的にビジネスコミュニケーションを展開できる創造的な人材を育成する。</p> |
| <p>卒業の認定に関する方針 (公表方法：ホームページにて公表 https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=669)</p> |
| <p>(概要) メディア学部メディア情報学科は、所定の単位を修得し、かつ以下に該当すると判断した場合に、学士（メディア情報）の学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. メディアリテラシーや情報リテラシーを身に付け、主体的に理解して活用することができる。 2. メディア産業の現状と変化についての理解に基づき、適切かつ戦略的に自身のキャリアをデザインすることができる。 3. 社会人として必要な協調性を身に付け、集団で作品を生み出す作業に関する知識と経験を活かして、対話的・実践的に行動することができる。 4. 修得した技術や抽象概念を言葉やカタチに具現化する能力を身に付け、さらに文化的または経済的価値を付加することができる。 5. グローバル化と多様化が一層進展する社会を捉える視点を身に付け、国内外を問わず幅広く活動することができる。 6. 正答のない課題を解決する能力と未だ存在しないものを新たに創造する能力を身に付け、クリエイティブな活動に自発的に取り組む向上心とチャレンジ精神を持って行動することができる。 |
| <p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：ホームページにて公表 https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=669)</p> |
| <p>(概要) メディア学部メディア情報学科では、教育研究上の目的及び学位授与方針に基づき、メディアとテクノロジーが共進化し、グローバル化と多様性が急速に進展する時代において、クリエイティビティを持って活躍できる人材を育成するため、以下に掲げる方針によりカリキュラム（教育課程）を編成します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クリエイティビティの基礎となる文理融合型リベラルアーツとして、幅広い教養、新たなリテラシー及び総合的な洞察力を身に付けるため、全学部共通基盤科目群を設置する。 2. 語学力と国際的教養及び実践的なコミュニケーション能力を身に付けるため、外国語科目群を設置する。 3. メディア産業での就職及び競争力の獲得を目指し、卒業後の社会生活の充実、持続的なキャリア形成や生涯学習に資する意識形成をはかり、主体的・自律的な学修方法を修得するため、ポートフォリオ作成を含むキャリア形成科目群を設置する。 |

| |
|--|
| <p>4. コースあるいは専門分野の選択にかかわらず必要な知識や技能、および専門分野の基礎知識を身に付け、より広い視野からメディアと情報について考えるため、専門基礎科目群を設置する。</p> <p>5. 実践力と総合力を体系的に身に付け、専門分野を深く学ぶための基盤（学士専門力）を形成するため、専門科目群Ⅰを設置する。</p> <p>6. 専門的な知識の応用と実践をはかるため、ゼミ研究・実践に関する科目で構成する専門科目群Ⅱ（ゼミ研究・実践）を設置する。</p> <p>7. アセスメント・ポリシーに基づく学修アセスメント・プランを提示し、ディプロマ・ポリシーに示す能力の修得状況及び学生の成長に伴う達成度を客観的に測定、評価する。</p> <p>以上の教育課程の編成に基づき、各授業内容に応じて、知識の修得を目的とする「講義」、知識や理論を組み合わせ実践力を養うことを目的とする「演習」、事象の検証や実践的な応用、技術や技法の修得を目的とする「実習」、「実技」を取り入れた授業形態を採用します。また、社会のニーズを踏まえた教育を展開することができるよう、主に専門科目群に実務家教員を配置します。さらに、合理的な授業人数の調整や ICT を活用した教育方法を導入し、より効果的な教育を実施します。</p> |
| <p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法：ホームページにて公表 https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=669)</p> |
| <p>(概要) メディア学部では、本学部の教育方針に共感し、以下のいずれかに当てはまる人を求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自身の思考を言葉、文字、身体表現で発信するためのコミュニケーション力を身につけ、社会と積極的に交流する意思を持っている人 2. 芸能・映像・ステージ・サウンド・エンタテインメントビジネス・ニューメディアのいずれかの分野において、表現力やスキルを身につけたい人 3. 社会が求める教養と専門的な知識・技能の習得に主体的に取り組み、将来エンタテインメントやコンテンツビジネスなど、クリエイティブ産業で活躍する意欲がある人 4. 豊かな人間性を身につけ、専門的な知識・技能で地域社会・国際社会・産業界等に貢献することに価値を見出し、他者と積極的にコミュニケーションを取りながら活動したい人 5. 企画力、問題解決力、情報発信力などを積極的に身につける意志を持ち、身につけた知性を適切に表現する意欲がある人 |

| |
|---|
| <p>学部等名 観光学部</p> |
| <p>教育研究上の目的 (公表方法：ホームページにて公表 https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=666)</p> |
| <p>(概要) 観光学部は、観光に関わる多様な課題に対する、「観光ビジネス」・「観光メディア」・「観光まちづくり」の三つの視点からの、理論と実践を活かした教育研究を通じて、社会が求める実践力と新たな価値を創造する力を身に付け、持続可能な観光に貢献できる人材を養成する。</p> |
| <p>卒業の認定に関する方針 (公表方法：ホームページにて公表)</p> |

<https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=666>)

(概要)

観光学部観光学科は、所定の単位を修得し、かつ以下に該当すると判断した場合に、学士（観光学）の学位を授与します。

1. 社会人として必要な倫理観を有し、観光および社会についての基本的な知識を修め、適切に理解し、活用することができる。
2. 多様な背景や価値観、文化を持つ人々を理解する教養を身に付け、語学力や情報リテラシーを活用して、グローバルな視点を持って適切に行動することができる。
3. コミュニケーション能力を備え、他者理解の上に立つ共感力や合意形成力を発揮し、持続可能な社会の構築に向けて連携・協働することができる。
4. 現場での経験を通して培ったやり抜く力と実践力をもって、主体的に課題発見と問題解決に向けて行動することができる。
5. 生涯にわたって自己研鑽を重ね、社会の求める知識や技能を高めながら、観光の新しい価値の創出に努めることができる。

教育課程の編成及び実施に関する方針

(公表方法：ホームページにて公表)

<https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=666>)

(概要)

観光学部観光学科では、教育研究上の目的及びディプロマ・ポリシーに基づき、観光をはじめ広く社会に貢献できる人材を養成するため、以下に掲げる方針によりカリキュラム（教育課程）を編成します。

1. 文理融合型リベラルアーツとして、幅広い教養、新たなリテラシー及び総合的な洞察力を身に付けるため、全学部共通基盤科目群を設置する。
2. 語学力と国際的教養及び実践的なコミュニケーション能力を身に付けるため、外国語科目群を設置する。
3. 学生生活及び卒業後の社会生活を充実させ、持続的なキャリア形成や生涯学習に資する意識形成及び主体的・自律的な学修方法を修得するため、導入期教育、ポートフォリオ作成を含めたキャリア形成科目、国内外の研修・インターンシップに係る科目からなるキャリア形成科目群を設置する。
4. 裾野が広く変化し続ける観光の専門分野を深く学ぶための基盤となる専門性を体系的に身に付けるため、観光政策や観光資源などの観光学に係る科目に加え、観光ビジネス分野、観光まちづくり分野、観光メディア分野の基礎科目からなる専門基礎科目群を設置する。
5. 旅行、宿泊、交通、飲食、イベント等の観光ビジネス分野で活躍できる人材、地域活性化を牽引する観光まちづくりに貢献できる人材、観光に係る多角的な広報活動・情報発信等の観光メディアに精通した人材を育成するため、観光専門分野の科目からなる専門科目群Ⅰを設置する。
6. 「現場」を通して課題を発見し、新たな価値を創り出す能力を身に付けるため、課題発見・課題解決を実践するプロジェクト型演習科目、広報活動や情報発信のために様々なメディア媒体を活用するメディア系演習科目、理論と実践を深化統合させるための観光ゼミナール及び卒業論文からなる専門科目群Ⅱを設置する。
7. アセスメント・ポリシーに基づく学修アセスメント・プランを提示し、学位授与方針に示す能力の修得状況及び学生の成長に伴う達成度を客観的に測定、評価する。

以上の教育課程の編成に基づき、各授業内容に応じて、知識の修得を目的とする「講義」、

知識や理論を組み合わせる実践力を養うことを目的とする「演習」、事象の検証や実践的な応用、技術や技法の修得を目的とする「実習」を取り入れた授業形態を採用します。また、社会のニーズを踏まえた教育を展開することができるよう、主に専門科目群に実務家教員を配置します。さらに、合理的な授業人数の調整や ICT を活用した教育方法を導入し、より効果的な教育を実施します。

入学者の受入れに関する方針

(公表方法：ホームページにて公表)

<https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=666>)

(概要)

1. 求める学生像

観光学部観光学科では、本学科の教育方針に共感し、以下のいずれかに当てはまる人を求めます。

- ・観光分野の専門知識と教養を積極的に学び、社会で活躍することを目指す人
- ・国際社会や地域社会で自己表現力と言語力を活かして貢献できる人
- ・観光分野の課題解決や新たな価値創造を通じて社会と積極的に関わる人

2. 入学者選抜の方針

以下の入学試験により、特に学力を構成する 3 要素である「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」について多面的かつ総合的に評価します。

(1)総合型選抜

本学科が求める学生像を理解し、その資質と能力を発揮することに意欲的な人を対象とします。出願書類や資格・検定試験の成績などの提出書類、課題では、観光分野に関連した知識・技能、思考力・判断力・表現力を評価します。面接では、主体性・多様性・協働性や意欲・目的意識を主に評価します。

(2)学校推薦型選抜（指定校、公募制）

本学科が求める学生像を理解し、本学科が定める基準を満たし、かつ学校長などが推薦する人を対象とします。出願書類や推薦書、資格・検定試験の成績などの提出書類では観光分野で活用できる知識・技能、思考力・判断力・表現力を評価します。面接では主体性・多様性・協働性や意欲・目的意識を主に評価します。

(3)一般選抜（一般選抜、大学入学共通テスト利用）

[一般選抜]

本学科での教育を受けるための資質と能力を有し、観光分野への関心を持つ人を対象とします。本学独自の学力検査と出願書類において観光分野に必要な知識・技能、思考力・判断力・表現力を主に評価します。本学独自の学力検査は、募集要項に示した教科・科目の成績を採用します。

[大学入学共通テスト利用]

本学科での教育を受けるための資質と能力を有し、観光分野への関心を持つ人を対象とします。学力検査（大学入学共通テスト）と出願書類において知識・技能、思考力・判断力・表現力を主に評価します。学力検査（大学入学共通テスト）は、募集要項に示した教科・科目の成績を採用します。

(4)特別選抜（外国人留学生選抜）

本学科が求める学生像を理解し、本学科での教育を受けるための資質と能力を有する外国人留学生を対象とします。出願書類と小論文において、日本語力と観光に関する知識・技能、思考力・判断力・表現力を評価します。面接では主体性・多様性・協働性や意欲・目的意識を主に評価します。

(5)特別選抜（帰国生徒選抜）

本学科が求める学生像を理解し、本学科での教育を受けるための資質と能力を有する帰国生徒を対象とします。日本語による作文と出願書類では、観光分野に必要な知識・

技能、思考力・判断力・表現力を評価します。面接では主体性・多様性・協働性や意欲・目的意識を主に評価します。

(6)特別選抜（社会人選抜）

本学科が求める学生像を理解し、本学科での教育を受けるための資質と能力を有する社会人を対象とします。出願書類では、観光分野に関連する知識・技能、思考力・判断力・表現力を評価します。面接では主体性・多様性・協働性や意欲・目的意識を主に評価します。

(7)編入学試験

本学科が求める学生像を理解し、編入年次から観光分野の教育を受けるための資質と能力を有する人を対象とします。出願書類と小論文において、観光分野で必要な知識・技能、思考力・判断力・表現力を評価します。面接では主体性・多様性・協働性や意欲・目的意識を主に評価します。

3. 入学までに学んできてほしい内容

- (1)本学科入学後、観光分野の専門知識や技能の修得に必要な基礎学力
- (2)協働的に学び、観光分野の課題を考察するための基礎的なコミュニケーション力、本学科での専門的な学修を深めるための思考力・判断力・表現力
- (3)国際社会や観光に関わる出来事に関心を持ち、高い倫理観とグローバルな視点を養う姿勢

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：ホームページにて公表

https://www.jiu.ac.jp/files/user/about/information/pdf/jiu_organization_chart2026.pdf

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

| a. 教員数（本務者） | | | | | | | |
|------------------------------------|--------|--|-------------|----|-----|-----------|------|
| 学部等の組織の名称 | 学長・副学長 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 その他 | 計 |
| — | 2人 | — | | | | | 2人 |
| 経営情報学部 | — | 17人 | 8人 | 0人 | 5人 | 0人 | 30人 |
| 国際人文学部 | — | 17人 | 10人 | 0人 | 5人 | 0人 | 32人 |
| 福祉総合学部 | — | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 |
| 看護学部 | — | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 |
| 薬学部 | — | 19人 | 10人 | 0人 | 3人 | 1人 | 33人 |
| メディア学部 | — | 13人 | 13人 | 0人 | 7人 | 0人 | 33人 |
| 観光学部 | — | 9人 | 4人 | 0人 | 1人 | 0人 | 14人 |
| 健康科学部 | — | 25人 | 24人 | 0人 | 22人 | 3人 | 74人 |
| 大学院 | — | 1人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 1人 |
| b. 教員数（兼務者） | | | | | | | |
| 学長・副学長 | | | 学長・副学長以外の教員 | | | | 計 |
| 0人 | | | 185人 | | | | 185人 |
| 各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等) | | 公表方法：ホームページにて公表 https://jiu-unipa.jiu.ac.jp/kgResult/japanese/index.html | | | | | |
| c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項） | | | | | | | |
| 年3回実施 | | | | | | | |

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

| a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等 | | | | | | | | |
|--|-------------|-------------|-------|-------------|-------------|-------|-----------|-----------|
| 学部等名 | 入学定員 (a) | 入学者数 (b) | b/a | 収容定員 (c) | 在学生数 (d) | d/c | 編入学 定員 | 編入学 者数 |
| 経営情報学部 | 410人 | 284人 | 69.3% | 1,700人 | 1,249人 | 73.5% | 30人 | 14人 |
| 国際人文学部 | 160人 | 122人 | 76.3% | 780人 | 561人 | 71.9% | 10人 | 0人 |
| 福祉総合学部 | 20人 | 1人 | 5% | 670人 | 383人 | 57.2% | 5人 | 0人 |
| 看護学部 | —人 | — | —% | 300人 | 294人 | 98% | —人 | —人 |
| 薬学部 | 60人 | 24人 | 40% | 650人 | 293人 | 45% | —人 | —人 |
| メディア学部 | 370人 | 335人 | 90.5% | 1,540人 | 1,446人 | 93.9% | 30人 | 2人 |
| 観光学部 | 100人 | 93人 | 93% | 400人 | 395人 | 98.8% | —人 | —人 |
| 健康科学部 | 238人 | 165人 | 69.3% | 245人 | 165人 | 67.3% | —人 | —人 |
| 合計 | 1,358人 | 1,024人 | 76.1% | 6,040人 | 4,621人 | 76.5% | 75人 | 16人 |
| (備考) 令和8年度より、健康科学部を新設。それに伴い、福祉総合学部・看護学部の募集を停止。 | | | | | | | | |

| b. 卒業生数・修了者数、進学者数、就職者数 | | | | |
|------------------------|------------------|----------------|--------------------|------------------|
| 学部等名 | 卒業生数・修了者数 | 進学者数 | 就職者数 (自営業を含む。) | その他 |
| 経営情報学部 | 366人 (100%) | 6人 (1.6%) | 305人 (83.3%) | 55人 (15.0%) |
| 国際人文学部 | 185人 (100%) | 7人 (3.8%) | 153人 (82.7%) | 25人 (13.5%) |
| 福祉総合学部 | 147人 (100%) | 4人 (2.7%) | 108人 (73.5%) | 35人 (23.8%) |
| 看護学部 | 112人 (100%) | 3人 (2.7%) | 104人 (92.9%) | 5人 (4.5%) |
| 薬学部 | 70人 (100%) | 1人 (1.4%) | 32人 (45.7%) | 37人 (52.9%) |
| メディア学部 | 377人 (100%) | 7人 (1.9%) | 305人 (80.9%) | 65人 (17.2%) |
| 観光学部 | 109人 (100%) | 10人 (9.2%) | 66人 (60.6%) | 33人 (30.3%) |
| 合計 | 1,366人 (100%) | 38人 (2.8%) | 1,073人 (78.6%) | 255人 (18.7%) |
| (主な進学先・就職先) (任意記載事項) | | | | |
| (備考) | | | | |

| c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項) | | | | | |
|---|-------------|--------------------|-----------|-----------|-----------|
| 学部等名 | 入学者数 | 修業年限期間内 卒業・修了者数 | 留年者数 | 中途退学者数 | その他 |
| | 人 (100%) | 人 (%) | 人 (%) | 人 (%) | 人 (%) |
| | 人 (100%) | 人 (%) | 人 (%) | 人 (%) | 人 (%) |
| 合計 | 人 (100%) | 人 (%) | 人 (%) | 人 (%) | 人 (%) |
| (備考) | | | | | |

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

| (概要) |
|---|
| <p>学生便覧に各学部の設置科目を掲載し、カリキュラムツリーをWeb上で公開し、授業科目の順次制・連続性の可視化に努めている。授業の方法についてはシラバスに記載し、また、年間の授業計画が分かるよう行事予定表(学年暦)を作成し公開している。</p> |

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

| (概要) | | | | |
|---|----------|----------------------|------------------------|-----------------------|
| シラバスに各科目の到達目標を示し、一部の科目ではルーブリック評価を取り入れるなど学修成果の可視化を行っている。卒業認定については、本学学則第 26 条および本学学位規程に定めている。また、各学部でディプロマ・ポリシー (DP) を定め、公開している。 | | | | |
| 学部名 | 学科名 | 卒業又は修了に必要な となる単位数 | G P A制度の採用 (任意記載事項) | 履修単位の登録上限 (任意記載事項) |
| 経営情報学部 | 総合経営学科 | 1 2 4 単位 | 有・無 | 単位 |
| 国際人文学部 | 国際文化学科 | 1 2 6 単位 | 有・無 | 単位 |
| | 国際交流学科 | 1 2 6 単位 | 有・無 | 単位 |
| 福祉総合学部 | 福祉総合学科 | 1 2 4 単位 | 有・無 | 単位 |
| | 理学療法学科 | 1 2 4 単位 | 有・無 | 単位 |
| 看護学部 | 看護学科 | 1 2 6 単位 | 有・無 | 単位 |
| 健康科学部 | 看護学科 | 1 2 4 単位 | 有・無 | 単位 |
| | 福祉総合学科 | 1 2 4 単位 | 有・無 | 単位 |
| | 理学療法学科 | 1 2 4 単位 | 有・無 | 単位 |
| 薬学部 | 医療薬学科 | 1 8 6 単位 | 有・無 | 単位 |
| メディア学部 | メディア情報学科 | 1 2 4 単位 | 有・無 | 単位 |
| 観光学部 | 観光学科 | 1 2 4 単位 | 有・無 | 単位 |
| G P Aの活用状況 (任意記載事項) | | 公表方法 : | | |
| 学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項) | | 公表方法 : | | |

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：ホームページにて公表
<https://www.jiu.ac.jp/about/information/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

初年度の納付金

| 学部名 | 学科名 | 授業料 (年間) | 入学金 | その他 | 備考 (任意記載事項) |
|--------|--------------------------|-------------|-----------|-----------|---------------|
| 経営情報学部 | 総合経営学科 | 800,000 円 | 270,000 円 | 240,000 円 | その他は施設設備費 |
| 国際人文学部 | 国際文化学科 | 800,000 円 | 270,000 円 | 240,000 円 | その他は施設設備費 |
| | 国際交流学科 | 800,000 円 | 270,000 円 | 240,000 円 | その他は施設設備費 |
| 健康科学部 | 看護学科 | 1,000,000 円 | 270,000 円 | 580,000 円 | その他は施設設備費、実習費 |
| | 福祉総合学科 | 800,000 円 | 270,000 円 | 240,000 円 | その他は施設設備費 |
| | 理学療法学科 | 900,000 円 | 270,000 円 | 480,000 円 | その他は施設設備費、実習費 |
| 薬学部 | 医療薬学科 | 1,430,000 円 | 400,000 円 | 186,000 円 | その他は施設設備費 |
| メディア学部 | メディア情報学科 (ニューメディアコース) | 800,000 円 | 270,000 円 | 240,000 円 | その他は施設設備費 |
| | メディア情報学科 (映像芸術コース) | 900,000 円 | 270,000 円 | 390,000 円 | その他は施設設備費 |
| 観光学部 | 観光学科 | 800,000 円 | 270,000 円 | 240,000 円 | その他は施設設備費 |

初年度以降の納付金

| 学部名 | 学科名 | 授業料 (年間) | 入学金 | その他 | 備考 (任意記載事項) |
|--------|--------------------------|-------------|-----|-----------|---------------|
| 経営情報学部 | 総合経営学科 | 800,000 円 | | 300,000 円 | その他は施設設備費 |
| 国際人文学部 | 国際文化学科 | 800,000 円 | | 300,000 円 | その他は施設設備費 |
| | 国際交流学科 | 800,000 円 | | 300,000 円 | その他は施設設備費 |
| 福祉総合学部 | 福祉総合学科 | 800,000 円 | | 300,000 円 | その他は施設設備費 |
| | 理学療法学科 | 900,000 円 | | 680,000 円 | その他は施設設備費、実習費 |
| 看護学部 | 看護学科 | 1,000,000 円 | | 580,000 円 | その他は施設設備費、実習費 |
| 薬学部 | 医療薬学科 | 1,430,000 円 | | 666,000 円 | その他は施設設備費 |
| メディア学部 | メディア情報学科 (ニューメディアコース) | 800,000 円 | | 300,000 円 | その他は施設設備費 |
| | メディア情報学科 (映像芸術コース) | 900,000 円 | | 450,000 円 | その他は施設設備費 |
| 観光学部 | 観光学科 | 800,000 円 | | 300,000 円 | その他は施設設備費 |

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

| |
|---|
| <p>a. 学生の修学に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>大学独自の給付型奨学制度として、入学試験の成績により選考を行う制度、入学後の学業への取り組みにより選考を行う制度、地域人材・社会人の学び直しを支援する制度を整備している。貸与型奨学生としては、家計の急変に対応する制度を父母後援会・同窓会の支援を得て整備している。また、地域人材育成のための貸与型制度として看護学部 of 病院・自治体による制度、介護福祉士貸付制度などの紹介を行っている。</p> <p>専任教員がアドバイザーとして指導や助言をする態勢をとっており、学生一人ひとりの修学、進路、健康管理、精神衛生、課外活動などに関わる諸問題について相談に応じる。アドバイザー教員は必要に応じて他の教員や関係他部署と連携を取り、最善の支援ができるようにする。</p> |
| <p>b. 進路選択に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. キャリア形成・就職センター職員（国家資格キャリアコンサルティング有資格者含む）が、求人情報の提供、学科ごとに担当者が個人別指導、エントリーの仕方・履歴書の書き方・面接の指導を行うとともに、業種の選択、企業の見方・選び方など各種就職活動の相談にも対応している。 2. 2年次後半から「就職ガイダンス」を開催し就職活動準備を支援している。また、留学生を対象とした「留学生ガイダンス」や大学院生を対象としたガイダンスを別途開催しているほか、医療系学科では独自に「就職ガイダンス」を定期的で開催している。 3. 「学内合同企業説明会」を千葉東金キャンパス及び東京紀尾井町キャンパスにおいて定期的に開催（毎月数社を招き、業界研究や企業研究、個別面談を実施）している。主にオンライン方式での開催のため、他キャンパスの学生も参加が可能となっている。 4. 11月下旬に千葉市内のホテルにおいて対面方式での「企業研究会」を開催している（医療系学科を除く3年生対象で、毎年80社前後の企業が参加）。さらに、理学療法学科では、医療機関や福祉施設等を招聘し、合同就職説明会を実施している。 5. 全学生を対象に適性診断とWeb模試テストの受検会を実施。その結果は、受検会終了後にフォロー講座を開催し自己分析を支援している。また、受検結果は学科ごとに就職委員にも提供している。 6. 就職活動を支援するための各種講座を開催（就活身だしなみ講座、面接対策講座、労働法セミナー、SPI対策Web講座など） 7. 基礎から業界別までの資格対策講座を開講（TOEIC®、日商簿記3級検定、国内旅行業務取扱管理者、販売士3級、ビジネス著作権検定、公務員教養試験対策講座など）するほか、資格系教育機関との提携による割引講座の案内も実施している。 |
| <p>c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 健康サポート <ul style="list-style-type: none"> ・学校保健安全法に基づき、全学生（交換留学生を含む）に年1回の健康診断を実施。 ・薬学部学生で有機溶剤等を使用する学生に対し、使用前の特殊健康診断を実施。 ・健康診断で有所見者には、再検査を案内、結果を確認しフォローしている。 ・健康診断結果は、ポータルサイトに掲載し、いつでも各自で確認できるようにしている。 ・傷病者（通学中・学内）に対し、応急処置、病院搬送や付き添いを行い、保護者や所属の教職員に情報共有をしている。対象者には保険申請手続きをサポートしている。 ・体調不良時の近隣の医療機関情報の提供、受診先の相談対応を行っている。 ・現症、既往疾患やアレルギー疾患のある学生の面談およびサポートをしている。 2. 感染症対策 <ul style="list-style-type: none"> ・新入生のみならず、全学生対象に年1回の健康診断時に胸部レントゲン検査を実施。 |

- ・入学後に母子手帳のコピーを提出してもらい、過去のワクチン接種履歴を把握している。
- ・学外実習対象学生に対し、所属学部で感染症抗体価検査を実施後、学部と連携し、抗体価検査結果から追加ワクチン接種が必要な学生に案内をしている。
- ・学校感染症罹患学生に対し、治癒後の状況を確認、助言を行っている。
- ・感染症流行時には、ポータルサイトを通じ、注意喚起を促している。

3. 心のケア

- ・新入生を対象にスクリーニング調査を実施し、精神面の健康チェック、学生相談室よりカウンセリングの案内を行っている。
- ・各キャンパスの学生相談室にて、カウンセラーによる相談が受けられる体制を設けると共に、希望者に対して精神科医による健康相談も行っている。
- ・学生相談室の相談については、対面・オンライン・電話での実施を可能としている。
- ・対象学生の状態により、学外の関係機関と連携し、サポート体制を作っている。
- ・休学前後の学生に対して、医務室・学生相談室にて心身の健康サポート、相談ができる体制を作り、リーフレットにて周知している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：ホームページにて公表

研究) <https://www.jiu.ac.jp/visitors/detail/id=11839>

教育) <https://www.jiu.ac.jp/news/>

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

| | |
|-------------------|---------------|
| 学校コード (13桁) | F112310102404 |
| 学校名 (〇〇大学 等) | 城西国際大学 |
| 設置者名 (学校法人〇〇学園 等) | 学校法人 城西大学 |

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

| | | 前半期 | 後半期 | 年間 |
|---|------------|------------|------------|------------|
| 支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生（内数） ※家計急変による者を除く。 | | 894人（499）人 | 869人（471）人 | 943人（504）人 |
| 内 訳 | 第Ⅰ区分 | 262人 | 248人 | |
| | （うち多子世帯） | （44人） | （28人） | |
| | 第Ⅱ区分 | 134人 | 132人 | |
| | （うち多子世帯） | （25人） | （20人） | |
| | 第Ⅲ区分 | 90人 | 85人 | |
| | （うち多子世帯） | （22人） | （19人） | |
| | 第Ⅳ区分（理工農） | 0人 | 0人 | |
| | 第Ⅳ区分（多子世帯） | 91人 | 82人 | |
| | 区分外（多子世帯） | 317人 | 322人 | |
| 家計急変による 支援対象者（年間） | | | | 一人（－）人 |
| 合計（年間） | | | | 946人（505）人 |
| (備考) | | | | |

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

| | |
|----|----|
| 年間 | 0人 |
|----|----|

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

| | 右以外の大学等 短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。） | | |
|---|--|-----|-----|
| | 年間 | 前半期 | 後半期 |
| 修業年限で卒業又は修了できないことが確定 | 21人 | 人 | 人 |
| 修得単位数が「廃止」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が廃止の基準に該当) | 15人 | 人 | 人 |
| 出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況 | 0人 | 人 | 人 |
| 「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。 | 9人 | 人 | 人 |
| 計 | 39人 | 人 | 人 |
| (備考) | | | |

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

| 右以外の大学等 短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。） | |
|--|----|
| 年間 | 0人 |
| 前半期 | 人 |
| 後半期 | 人 |

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

| | |
|---------|----|
| 退学 | 0人 |
| 3月以上の停学 | 0人 |
| 年間計 | 0人 |
| (備考) | |

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

| | |
|---------|----|
| 3月未満の停学 | 0人 |
| 訓告 | 0人 |
| 年間計 | 0人 |
| (備考) | |

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

| | 右以外の大学等 | 短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。） | |
|-------------|---------|--|-----|
| | 年間 | 前半期 | 後半期 |
| GPA等が下位4分の1 | 29人 | 人 | 人 |

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

| | 右以外の大学等 | 短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。） | |
|---------------------------|---------|--|-----|
| | 年間 | 前半期 | 後半期 |
| 修得単位数が「警告」の基準に該当 | 2人 | 人 | 人 |
| GPA等が下位4分の1 | 141人 | 人 | 人 |
| 出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況 | 0人 | 人 | 人 |
| 計 | 141人 | 人 | 人 |
| (備考) | | | |

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。